

2022年7月22日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社  
代 表 者 名 代表取締役 武内 博文  
(コード番号：4579)  
問 合 せ 先 取締役 須藤 正樹  
(TEL. 052-446-6100)

## 胃食道逆流症治療薬tegoprazanの韓国における適応拡大に関するお知らせ

このたび、HK inno.N Corporation（本社：韓国ソウル市、代表取締役：Dal-Won Kwak、以下「HKイノエン社」）は、当社がHKイノエン社に導出した胃食道逆流症治療薬tegoprazan（韓国販売名（韓国登録商標）：K-CAB<sup>®</sup>、以下「tegoprazan」）につきまして、びらん性胃食道逆流症治療後の維持療法にかかる承認を韓国当局から得たことを発表しましたのでお知らせいたします。なお、本件は、東京証券取引所の規則に定める適時開示には該当いたしません、有用な情報と判断したため、任意開示いたします。

びらん性胃食道逆流症治療後の維持療法とは、治療により内視鏡で認められるびらん所見が治癒した後、治癒した状態を維持するために薬剤を用いることをいいます。HKイノエン社は、2022年2月、本適応症にかかる承認申請を行っていましたが、2022年7月20日に韓国食品医薬品安全処から承認を得たことを昨日発表しました。また、これとあわせて、新たに用量25 mgの製剤について製造販売承認を得たことを明らかにしました。

Tegoprazanは、当社が創出したカリウムイオン競合型アシッドブロッカー（Potassium Competitive Acid Blocker：P-CAB）と呼ばれる新しい作用機序の胃酸分泌抑制剤です。P-CABは、胃食道逆流症治療の第一選択薬であるプロトンポンプ阻害剤（PPI）とは異なるメカニズムで、PPIよりも速やかに、かつ、持続的に胃酸分泌を抑制するという特長を持つ新世代の治療薬です。

今回の適応拡大により、韓国において製造販売承認を得ている適応症は、びらん性胃食道逆流症、非びらん性胃食道逆流症、胃潰瘍、ヘリコバクター・ピロリ除菌補助療法、びらん性胃食道逆流症治療後の維持療法の5つとなりました。韓国で販売されているP-CABの中で最も多くの適応症を持つこととなり、胃酸関連疾患における様々なニーズに応えることができる治療薬として、市場における地位をさらに強固にすると期待されます。

当社は2010年9月に、HKイノエン社との間で、tegoprazanの東アジア地域を対象とした開発・販売及び製造の再実施許諾権（サブライセンス権）付き独占的ライセンス契約を締結しました。Tegoprazanは、HKイノエン社により販売名「K-CAB<sup>®</sup>」として2019年から韓国で販売されており、2021年の韓国国内売上（院外処方実績）が1,096億ウォン（約109億円）に達する大型製品（2年連続で韓国での消化性潰瘍薬市場シェア1位）となっております。2022年におきましても、院外処方実績の上半期累計で606億ウォン（約60億円、前年同期比21%増）と高い成長率を維持しております。

当社は今後も引き続き、tegoprazanの価値最大化に向けてHKイノエン社との連携をより強固にし、世界各地の多くの患者さまに同薬を届けることにより、消化器疾患治療の選択肢を広げ、患者さまの生活の質（QOL：Quality of Life）の向上に一層貢献できるよう努めてまいります。

なお、本件により当社が受け取る一時金はありませんが、当社は、韓国における適応拡大によるHKイノエン社の収益の増加が当社の事業収益および企業価値の向上に寄与するものと考えております。

以 上

<ご参考>

HK イノエン社の公式発表につきましては、HK イノエン社のホームページをご覧ください。  
[https://www.inno-n.com/pr/news/view/1/819?sch\\_text=](https://www.inno-n.com/pr/news/view/1/819?sch_text=)

換算レート：1 韓国ウォン=0.10 円